



No.2843

2017-2018年度

会長 成川 守彦

幹事 橋本 拓也

R広報委員長 應地 正章

担当：嶋田（崇）委員



島海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日のプログラム

平成29年9月14日 第2844回

- 外部卓話：二神典子氏（ロータリーの友 前編集長）
「ロータリーと私」
- ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告（第2843回例会）

開催日 平成29年9月7日(木)

点鐘 (成川(守)会長)

今月の誕生・結婚祝

(上野山(捷)親睦活動委員長)

会員誕生：なし

配偶者誕生：成戸祐三さん、中村有香さん

結婚記念：なし

ニコニコ箱の報告 (川口副SAA)

成川(守)君：先週のロータリーデー、ご参加ありがとうございました。脇村君、卓話楽しみです。

橋本君：脇村さん、本日の卓話、よろしくお願ひ致します。皆様、先週のロータリーデーご苦勞様でした。

宮井君：脇村君、本日の卓話、ご苦勞様です。勉強させて頂きます。

中村君：脇村さん、卓話ご苦勞様です。拝聴させていただきます。

橋爪(正)君：脇村様、本日の卓話、楽しみです。

石垣(洋)君：脇村様、卓話楽しみにしています。

松村君：ロータリーデーお疲れさまでした。脇村さん、卓話楽しみです。

脇村君：本日、卓話をさせていただきます。

嶋田(崇)君：脇村さん、卓話ご苦勞様です。

橋爪(誠)君：脇村さん、本日の卓話よろしくお願ひ致します。楽しみにしていました。勉強させて頂きます。

上野山(捷)君：脇村重徳様、本日の卓話ご苦勞様です。

児島君：脇村さん、卓話楽しみです。

嶋田(ひ)君：地の島の清掃おつかれさまでした。脇村さ

2017-2018年度クラブ方針

ロータリーを知ろう

～温故知新～

次回のお知らせ

平成29年9月21日 第2845回

- 外部卓話：栗生 千佳 氏（藤並学童クラブ代表）
「今、小学生が抱える問題」
- ソング：「四つのテスト」

ん、卓話宜しくお願ひします。

上野山(英)君：脇村さん、本日、卓話先達ご苦勞様です。

井上君：脇村さんの本日の卓話たのしみにしていました。

田端君：脇村様、本日の卓話御苦勞様です。楽しみにしています。

岩橋君：脇村さん、卓話楽しみにしています。

中元君：脇村さん、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

川口君：脇村様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。勉強させて頂きます。

出席報告 (石垣例会運営委員)

本日の会員数29名

(出席規定免除会員9名)

出席会員数25名

(出席規定免除会員8名)

89. 29%

8/24 89. 66%

MU:脇村君、上野山(栄)君

会長の時間 (成川(守)会長)

「ENJOY ROTARY! ガバナー月信」



まず、先週お願ひしました「貴方の考える『ロータリーって何?』」の提出をお願ひします。

さて、8月31日のロータリー・デーにご参加の皆様、お疲れ様でした。ニコニコ箱も沢山の協力いただきましてありがとう

ございました。お陰様で素晴らしい事業となりました。参加された皆様は、多分、ロータリーをエンジョイされたことと思います。橋本幹事は、頑張りすぎて事業の後、熱を出されたそうです。ご苦労様でした。

「ロータリーをエンジョイ」する、という意味、お分かりですよね。「ENJOY ROTARY！」って、ご存知ですか？RIテーマに、ありましたか？古い会員の皆様は、ご存知ですよね。1989-90年度(28年前)ヒュー M. アーチャー(米国・ディアボーンRC)RI会長のテーマは、「ENJOY ROTARY！ロータリーを楽しもう！」でした。

ENJOY ROTARY！って、どういう意味でしょうか？お酒を飲んだり、ゴルフをしたり、旅行したり・・・所謂、日本の親睦(親睦活動)を意味するものではありません。奉仕活動を通じて、ロータリーをエンジョイすることです。先日のロータリー・デーに参加された皆様は、きっと奉仕活動を通じて、ロータリーをエンジョイされたことと思います。

私のガバナー年度1999-2000:大きな事業を二つ実施しました。

①インド、ボンベイ「ポリオワクチンの一斉投与への参加」
「ポリオ・ワクチンNIDsへの参加」は、日本では第2650地区に次いで第2番目の参加でした。

インドでは0才～5才の子供、1億4千万人にポリオワクチンを一斉に接種します。中島PDG、亀岡直前DGはじめ、会員、ご家族、RAC7名を含む73名の皆様のご参加をいただき、2000年1月20日から24日、インドのボンベイにおける「ポリオ・ワクチン一斉投与」に行きました。特に当年度のクラブ会長さんが8名も参加。有田RCからも、栗原会長をはじめ上野山地区代表幹事、川村、嶋田地区幹事の皆様、7、8名の方が参加されました。旅費(20万円)などは、全て自己負担です。参加された皆様は、ロータリーをエンジョイされました。

その後、2年前に当クラブへ卓話に来られた関場PDGが毎年続けられています。NIDsは今年度が最後です。生ワクチン投与は、今年が最後！(不活化ワクチンに切り替える)ぜひ、参加して、感動を味わっていただきたい。

②「ネパールのバクタプル(カトマンズ近郊)での岩村記念病院の建設」

第2640地区と第2680地区(兵庫県)では初の2地区合同プロジェクトとして、地区内各クラブの協力を得て1000万円をかけ、ネパールに「岩村昇記念病院」を建設しました。

岩村昇博士は、ネパール国民に対する18年間におよぶ医療を中心とする人道的奉仕(結核の予防)とバン格拉デッシュ・インドネシア及びフィリピン諸島に於ける健康管理プログラム推進に大きな役割を果たしたことで、国際ロータリー1981年サンパウロ国際大会で第一回ロータリー国際理解賞と1993年「アジアのノーベル賞」とも呼ばれる「マグサイサイ賞」を受賞されています。

竣工式には、第2640地区からは新宅雅文委員長を団長とする15名が、第2680地区は米谷収直前ガバナー以下8名が、竣工式典に参列しました。その後も、米澤WCS

委員長(故人)の堺泉ヶ丘RCの皆様はCTを寄贈されたり、2680地区も続いて支援をしています。

私は3回、上野山地区代表幹事さんも1回ネパールを訪問しましたが、米澤WCS委員長は10数回訪問しました。旅費などは、全て自己負担です。参加された皆様は、ロータリーをエンジョイされました。費用負担より、感動の方が大きいのです！

また、三軒年度:

③ 2007年5月12日～15日、2640地区は、インドネシア・バリ島へWCS活動を実施しました。三軒DG、平原DGE、PDG(亀岡、成川)を含むロータリアン・家族126名参加。(27クラブ)

1) Roofed Public Water Tank(貯水槽) Project:

井戸は掘っても水が出ない。村民は雨水を貯めて生活用水に利用。

住民が現在採水している水源地が村から遠いため、生活用水貯水槽を作って寄贈

生活用水貯水槽(Roofed Public Water Tank)の大きさは、4M×4M×5M。

資金は、1ヶ所当り Rp7,231,000÷10万円(労賃は含まれていない。村の人たちが自分達で共同作業をする)

<新宮RC>

ベサキの小さな村(デンパサールから2時間山奥)に、貯水槽4つ建設寄贈。

<田辺RC、田辺東RC、田辺はまゆうRC、白浜RC>

バリ島東部Rendang郡(デンパサールから3時間山奥の小さな村)に貯水槽11個を建設寄贈。

2) 教育プロジェクト Education Project:

大阪堺清陵RC(28万円); 2006-07年度: 25名の貧困児童に3年間の奨学金支給

3) 婦人無料健診車 Women's Health Mobile Clinic (WHMC) 大阪堺清陵RC; 2005-06年度: 健診の資金援助

旅費などは、全て自己負担です。参加された皆様は、ロータリーをエンジョイされました。

今年度、国際奉仕委員会では、中元先生が中心になり、「ミャンマーにおける有機肥料を使った職業訓練事業」を計画しています。11月23日から26日まで、ミャンマーのバゴー管区へ行きます。ヤンゴンロータリークラブの例会にも出席します。皆様も是非参加されて感動を味わってください。

.....
今年度は、例会で「ロータリー用語」の解説をし、IDMやロータリーカレッジで勉強をしますが、10月の「月見例会」や新年の「ディナーショー」、4月の京都への「家族親睦旅行」など、親睦活動でもロータリーをエンジョイしていただく催しも予定しています。奉仕活動にエンジョイし、親睦活動にエンジョイしていただきたいと思います。

人間にとって最高の荣誉ある喜び、それは、自分が他の人の役に立つことが出来る、自分の存在が他の人の喜びに繋がる、と言うことを知る事です。この人間としての最高の荣誉である喜びを一度も味わうことなく死んでしまったら・・・これほど寂しいことはありません。

幸い、我々はロータリアンとして、人様のお役に立つ機会に恵まれております。ロータリーで修行を積んで、“I serve”が出来るのです。それが、ロータリーです。人様のお役に立つことが出来れば、これほどの喜び、生きていくことの喜びはありません。

そして、人間、生きて最後に残すものは「どれだけ集めたか」ではありません。「どれだけ与えたか」です。2003-04年度ジョナサン B.マジリアベ会長のテーマ“Lend a hand”であります。

人はどれだけ成功したかでは無く、どれだけ愛の心を持っているかで評価されます。私たちロータリアンは、人々に関心を持って、人の為に奉仕をする事が大切です。

出会いに感動し、人の心に出会いを残すことが、生きる喜びであり、生きた証でもあるのです。この出会いですが、運命は、誰と出会ったかで、決まります。

結婚というのは、大きな出逢いです。悪妻に悩まされたことで有名なソクラテスは、こう言っています。「是が非でも結婚したまえ。良妻を得れば幸福となろう。悪妻に当たったら哲学者となろう。」

その出会いは、何で決まると思いますか。その人の「人格」で決まるのであります。誰に出会うか、どんな人と巡り会うかは、その人の人格にふさわしい出会いしか生まれないものといわれます。

ないものねだりで不満ばかりこぼしている人は、そういう人としか出会いません。「不幸だ。不幸だ。」と言っている人は、そういう人にしか巡り会いません。類は友を呼ぶと言いますが、不思議なもので自分と似た者が寄ってくるのです。もちろん、逆もまたしかりです。男と女、夫と妻、親と子、上司と部下、友人関係、師弟関係・・・どの組み合わせも、その人の人格にふさわしい出会いであり人脈です。トンビはタカを生みません。トンビはトンビ、タカはタカ。出会う相手は、自分の人格の反映でもあるのです。

そのためには、出会いを豊かにしたいものです。そう思ったら、それにふさわしい自分になることが大前提なのです。

ロータリーの例会や奉仕活動を通して、ロータリーという人生道場で修行することにより、自分が人間的に成長し、より志の高い自分になり、その結果、より良き出会いに巡り合うことが出来るのであります。それが、「ロータリアンであることの意義」ではないでしょうか。ロータリーに、会員として継続する意義では、ないでしょうか。

さて、毎月、ガバナーは、月信を発行します。

●ガバナー月信(Governor's Monthly Communication) (ロータリー情報ハンドブック)

「ガバナーは、地区内の各クラブ会長およびクラブ幹事と、少なくとも月に1度、連絡を取る義務がある。」とされています。そのため、月信を出します。本来、月信はクラブ

会長およびクラブ幹事宛のものなのです。ご存知でしたか？

しかし、「月信は、ガバナー補佐、パストガバナー、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、クラブ、地区支援室職員も閲覧できるようにすべきである。」とされています。そこで、月信を会員の皆様にも、配布しているのです。

ガバナーによるこの月信は、クラブのリーダーに地区やRIに関するニュースやお知らせを伝える主な手段となるため、重要なものであります。月信は、電子ニュースレター、ビデオメッセージ、地区ウェブサイトのリンクをEメールで送るなど、さまざまな形で発信できます。近年、インターネットのみを採用する地区が増えました。今年度、岡本DGは、インターネット以外にダイジェスト版の印刷も配布しています。

月信で、以下のことを行うべきであります。

- ロータリー戦略計画など、ロータリーに関する重要な情報をロータリーリーダーに伝える
- 地区目標を掲載する
- 地区行事に関連した各期日を掲載する
- RI、ロータリー財団、地区プログラムに関する情報を含める
- 具体的なクラブの活動(新クラブの加盟、新会員の入会など)を紹介する
- 「元気なクラブづくりのために:クラブ・リーダーシッププラン」に掲載されたベストプラクティスを奨励する
- www.rotary.orgの最新ニュースを読むよう、クラブリーダーに勧める
- クラブ目標に向けた活動、今後の行事や特別月間・週間の計画、RIと地区の取り組みの推進、他クラブとの協力を行うよう、クラブのリーダーの意欲を喚起する
- 奉仕や寄付増進に貢献した委員会、会員、クラブ、地区のプログラムを紹介する

幹事報告

(橋本幹事)



先週のロータリーデー、台風の影響で波が高かったので渡船での見学ルートは短くなりましたが、皆様のご協力で奉仕活動は、私が予想していた以上に上手くできましたと思います。有難うございました。

1. 9月21日例会終了後、ガバナー補佐をお招きして、クラブ協議会を開催します。皆様参加されるようお願いいたします。
2. 一般財団法人 比国育英会 バギオ基金から、バギオだよりが届いています。
3. クラブ社会奉仕委員会の開催案内が届いています。9月30日県民文化会館、井上社会青少年奉仕委員長にお願いしました。

4. 地区から、九州北部集中豪雨被害への義捐金について、各クラブからの2,926,826円に地区資金を加え合計300万円を送金した報告がありました。
5. 有田ライオンズクラブより、チャーターナイト55周年記念式典(11/25)への案内が成川(守)会長に届いています。
6. 広報誌“ROTARY”の購入案内が届いています。会員組織委員会・情報研修員会に渡しました。
7. 先週配布した「ロータリーって何」への記入を終えたら、幹事まで提出して下さい。

委員会報告

*** 米山記念奨学会委員会(松村委員長)**

9月2日のクラブ米山委員長会議に出席しました。10月の米山月間を前に意見交換をしました。董涛君が卓話をしました。

*** 情報・研修委員会(脇村委員長)**

有田RC内規の改正の承認が得られましたので、差し替えて下さい。

卓話

ロータリーの長期的発展に向けて

～RI戦略計画の推進による公共イメージの向上～



会員
脇村 重徳 君

現代社会においては、全ての慈善団体はあらゆる点で公共から注目されており、私たちは地域社会との良好な関係を築き、公共イメージを継続して発展させていく必要性を認識しなければならない。さらに、ロータリーの将来にとって会員増強は必要不可欠のものであるが、そのためにも如何にして公共イメージの向上を図るかが鍵となる。

歴史的に見ると、ロータリアンは「ロータリーは広報を追求すべきではなく、むしろ私たちの素晴らしい業績が自ら物語るようにさせるべきだ」という神話を不朽にした。決議23-34にも、「奉仕を行うことによって宣伝しよう、名声を得ようとしてはならない」とあり、しばしばロータリアンは宣伝と広報をする努力を避けるべきであるという意味に解釈されてきた。しかし、その後の改正では、「クラブが立派に遂行した有益な事業については、正しい広報が行われるべきである」と述べている。今日では、殆どのロータリアンは積極的な広報活動はロータリーにとって肝要であり、奉仕プロジェクトはロータリーの一番優れた広報であ

ると考えている。

しかしロータリーは100年余に亘り、会員の職業の知識やスキルを活かして地域社会に貢献してきたが、残念ながら、このような活動は一般には殆ど知られていない。市民の認識評価は「ロータリーの名前は知っているが、ロータリーが何をしているか知らない」であり、私たちは如何にロータリーを理解してもらうかという課題に直面した。私たちがロータリーのことを考えるときは高尚な目標や理念を言うのはいいが、世間の人々がロータリーを考えるときは、私たちが実行した活動や奉仕のことしか頭にないのである。

従って、私たちが実行した奉仕活動を他の人々に知らせ、地域社会におけるロータリーの存在感を際立たせるようにしなくてはならない。世はまさに情報化社会であり、自らをアピールしない組織は社会から取り残される。有益なプロジェクトを広報することによって存在感を高めることこそがロータリーの長期的発展につながるのである。

「経営の神様」といわれたP.ドラッカーは、企業経営における戦略計画とは、将来の成果に結びつけるための行動計画であり、「PLAN-DO-SEE」の連続したプロセスから成ると述べている。ロータリーも組織であることを認識し、未来永劫の継続と発展を望むのであれば、毎年リーダーが交代するロータリーで、確固とした方向性を持って目標を達成するためには戦略計画が欠かせない。

2010年に採択された「RI戦略計画」は、

- ① 人道的奉仕の重点化と増加
- ② 公共イメージと認知度の向上
- ③ クラブのサポートと強化

の3つの優先項目から構成されており、それぞれが「PLAN-DO-SEE」の関係にある。例えば、

- ① 地域社会で成果をもたらす奉仕活動をすれば、世間の関心や評価が高まる
- ② その結果、イメージとブランド認知を調和させ、賛同者や新会員が増える
- ③ そうすると、クラブの刷新性と柔軟性が向上し、奉仕活動が活発化される

というマネジメントサイクルが出来上がり、いずれの優先項目も相乗的に成果を生み出すことになる。

閉会・点鐘 (成川(守)会長)

9/16(土)～9/25(月)まで、有田ロータリークラブ事務局を不在にしております。ご迷惑をおかけしますが、どうぞよろしくお願い致します。

